

## マーケットの動き（2024年5月13日～5月17日）

先週の国内リート市場は、前週末比で下落しました。

日銀が資産残高を縮小する量的引き締めなどの政策正常化を進めるとの思惑から国内金利が上昇したことを嫌気し、国内リートは軟調に推移しました。

セクター別では、オフィスセクターが上昇した一方、住宅セクターや商業・物流等セクターが下落しました。

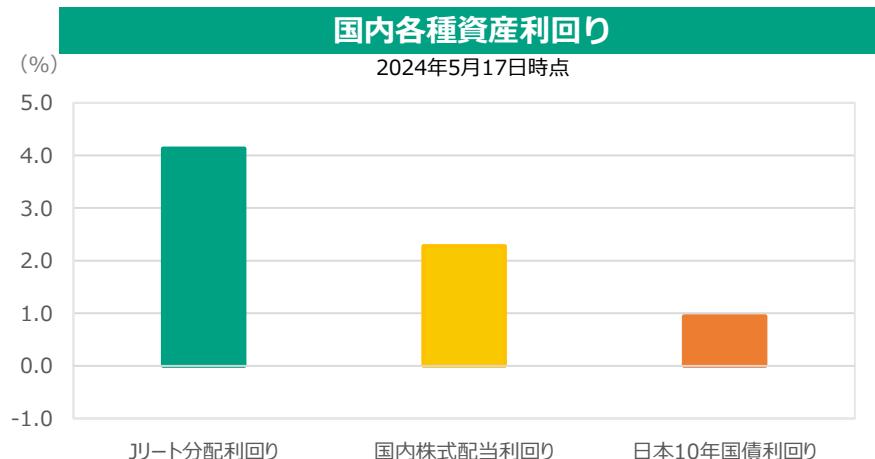
## 投資環境見通し（2024年5月）

## 国内リート市場は、回復基調を辿ると予想

業績回復や割安性、需給環境の改善期待を背景に、国内リート市場は回復基調を辿ると予想します。株式会社の自社株買いに相当する自己投資口の取得や物件売却による含み益の還元など、割安な投資口価格は正に向けた取り組みが増えていることも好材料になるとみています。

	5月17日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
東証REIT指数	1,800.45	▲0.34%	0.51%	▲1.95%	▲4.39%
＜ご参考＞ TOPIX（東証株価指数）	2,745.62	0.64%	3.10%	14.83%	28.68%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>